

岡山県立記録資料館第 71 回所蔵資料展

# 思ひ出の学び舎のまろく

## 展示品紹介



平成 29 年 **8.8** (火) ~ **10.21** (土)

休館日 月曜日、国民の祝・休日(月曜日が祝・休日の場合はその翌日も)

開館時間 9 時~17 時

会場 岡山県立記録資料館 1 階展示コーナー

まろくる岡山・まろくる



### 岡山県立記録資料館

Okayama Prefectural Archives

入場  
無料

ようこそ  
晴れの国  
おかやま

〒700-0807  
岡山市北区南方 2-13-1  
TEL 086-222-7838



ごあいさつ

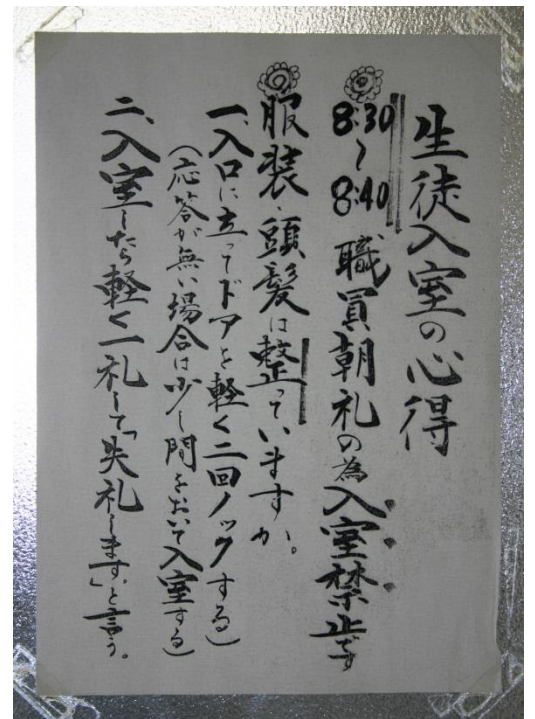
「思ひ出の学び舎の記録」では、当館所蔵の学校アーカイブズ（学校の記録資料）のうち、県立高等学校の統廃合時に収集した公文書を中心に、学校現場の資料を紹介します。資料からは生徒や教員が生きいきと活動している姿や、学校と地域とのかかわりが分かります。展示をご覧いただき、学校アーカイブズのおもしろさをぜひ感じてください。

平成29年8月8日

岡山県立記録資料館長

目次

ごあいさつ	2
関連行事	2
懐かしき小学校	3
教科書・きまり・試験	5
高等学校資料	8
1 時間目 「夢つまる」	8
2 時間目 「関門にいどむ」	11
3 時間目 「知へのめざめ」	11
4 時間目 「つながる気持ち」	13
お昼休み 「自慢の母校」	15
5 時間目 「あつい仲間」	16
6 時間目 「残るあかし」	17
おかやまの今昔写真	20



県立琴浦高校職員室入り口掲示物

展示関連講座「きろくる岡山ゼミナール 第5回」

日時 9月10日（土） 13:30～15:00  
 講師 前田 能成（当館職員）  
 演題 「思ひ出の学び舎のきろく」  
 会場 岡山県立記録資料館研修室  
 定員 40人（事前申込不要、当日先着順、参加無料）

【本展覧会は前田能成・上井良子が担当しました。】

# 懐かしき小学校

昭和 23 (1948) 年、県内には 613 校の小学校がありました。その後過疎化・少子化の影響から統廃合がすすみ、平成 28 (2016) 年には 403 校へと減少しています。資料は、歴史を閉じた小学校の昭和 50 年 (1975) 頃の様子です。



1



2



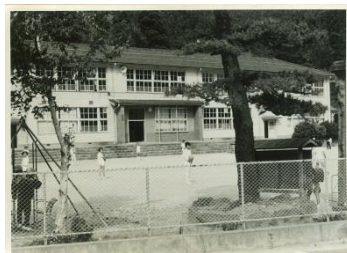
3



4



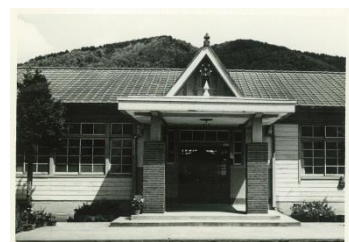
5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



23



25



26



27



28



29



30



31



32



33



34



35



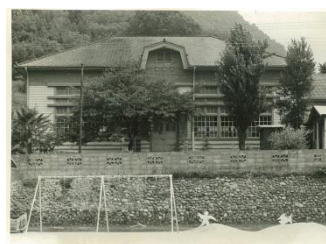
36



37



38



39



40



41



42



43



44



45

小学校校舎写真リスト

旧岡山県総合文化センター移管写真C54

番号	学校名	現市町村	旧市町村	閉校年(統廃合・廃校・休校等による)	資料番号
1	英田小学校 上山校舎	美作市	英田町	昭和46(1971)年統廃合	9
2	飯岡小学校	美咲町	柵原町	平成4(1992)年統廃合	139
3	上田小学校	真庭市	落合町	平成23(2011)年休校	415
4	植月小学校	勝央町		平成20(2008)年統廃合	419
5	打穴小学校	美咲町	中央町	平成18(2006)年統廃合	413
6	影石小学校	西粟倉村		平成11(1999)年統廃合	1388
7	加茂東小学校	津山市	加茂町	昭和50(1975)年統廃合	1374
8	吉ヶ原小学校	美咲町	柵原町	昭和57(1982)年統廃合	1477
9	久賀小学校	美作市	勝田町	平成4(1992)年統廃合	1648
10	久田小学校	鏡野町	奥津町	平成4(1992)年統廃合	1651
11	郷小学校	鏡野町		昭和61(1986)年統廃合	2074
12	中谷小学校	鏡野町		昭和56(1981)年統廃合	3530
13	南和氣小学校	美咲町	柵原町	平成5(1993)年統廃合	4799
14	湯本小学校	真庭市	湯原町	昭和43(1968)年統廃合	5148
15	吉野小学校	美作市	作東町	平成20(2008)年統廃合	5155

番号	学校名	現市町村	旧市町村	閉校年(統廃合・廃校・休校等による)	資料番号
16	川上小学校 高山分校	高梁市	川上町	昭和45(1970)年廃校	1292
17	舎翠小学校	新見市		平成15(2003)年統廃合	1365
18	北木小学校 楠分校	笠岡市		昭和57(1982)年廃校	1439
19	北木小学校 豊浦分校	笠岡市		平成13(2001)年統廃合	1440
20	下熊谷小学校	新見市		平成21(2009)年統廃合	2599
21	高瀬小学校	新見市	神郷町	平成17(2005)年統廃合	2949
22	新郷小学校	新見市	神郷町	平成17(2005)年統廃合	3669
23	服部小学校	総社市		昭和47(1972)年統廃合	3816
24	日名小学校	高梁市	成羽町	平成11(1999)年統廃合	4105
25	吹屋小学校	高梁市	成羽町	平成24(2012)年閉校	4307
26	三須小学校	総社市		昭和47(1972)年統廃合	4754
27	明治小学校	井原市	芳井町	平成20(2008)年統廃合	4963
28	由加学園小学校	倉敷市		昭和48(1973)年廃校	5097
29	油野小学校 三室分校	新見市	神郷町	平成13(2001)年廃校	5098
30	寄島西小学校	浅口市	寄島町	平成4(1992)年統廃合	5165
31	出石小学校	岡山市北区		平成14(2002)年統廃合	236
32	今小学校	岡山市北区		昭和34(1959)年統廃合	268
33	岩田小学校	岡山市北区		昭和40年(1965)年統廃合	287
34	内山下小学校	岡山市北区		平成13(2001)年統廃合	412
35	鹿忍小学校 西脇分教場	瀬戸内市	牛窓町	昭和43(1968)年本校へ	1386
36	可真小学校	赤磐市	熊山町	昭和63(1988)年統廃合	1409
37	甘泉小学校	岡山市北区	御津町	昭和41(1966)年統廃合	1350
38	弘西小学校	岡山市北区		平成13(2001)年統廃合	1862
39	承芳小学校	岡山市北区	御津町	平成13(2001)年統廃合	2700
40	周匠小学校	赤磐市	吉井町	昭和54(1979)年統廃合	2768
41	鶴田小学校	岡山市北区	建部町	昭和52(1977)年統廃合	3157
42	仁堀小学校	赤磐市	吉井町	昭和56(1981)年統廃合	3728
43	日生西小学校 鴻島分校	備前市	日生町	平成29(2017)年廃校	4112
44	藤野小学校	和気町		平成29(2017)年統廃合	4232
45	布都美小学校	赤磐市	吉井町	昭和56(1981)年統廃合	4261

# 教科書

「落書き・書き込みのある教科書」

いつの時代も、教科書への落書きや書き込みが見られます。

「庭訓往来」は江戸時代、子どもの教科書として最も広く使われたものです。この庭訓往来の表紙裏や、明治期の「手紙之独稽古」の裏表紙には、ユニークな少年の落書きがあります。

明治の女子児童の国語と理科の教科書には、少女らしく挿絵に着色をしたり、丁寧に名称を書き込んだりしています。

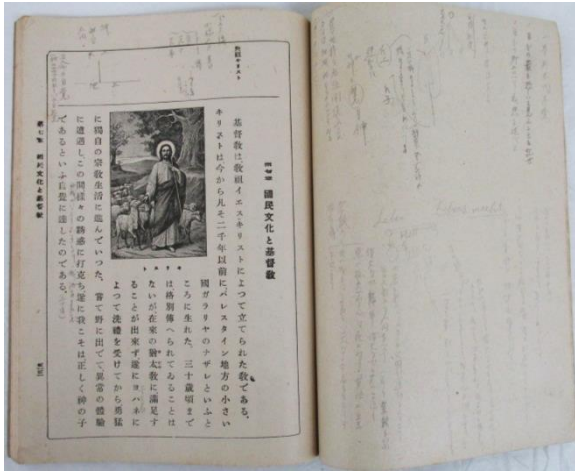
戦前の女子修身の教科書や副読本は、教育勅語や臣民の道など時代を反映した内容です。これらを使用した女学生は、教科書の隙間に授業の内容をところせましと書き込み、熱心に授業を受けていたことがうかがえます。



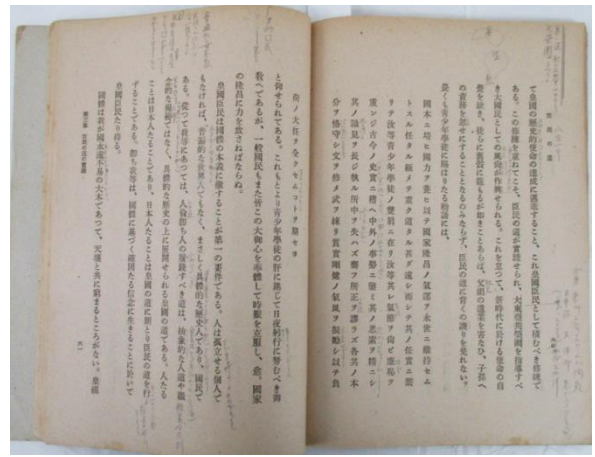
左 『小学 新理科』 明治 34 (1091) 年 後月郡東江原村小池家資料 (B201-155)

中 『尋常小学読本』 明治 20 (1887) 年 後月郡東江原村小池家資料 (B201-140)

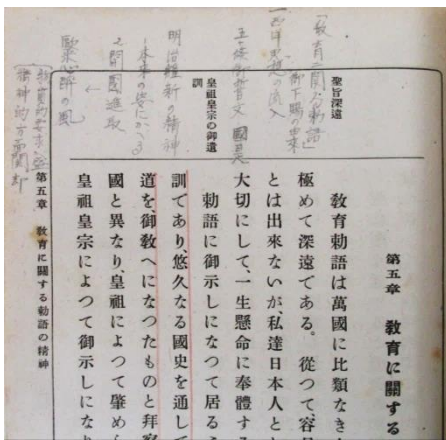
右 「庭訓往来」(複製) 文久 3 (1863) 年写 当館寄託吉野郡古町村有元家資料 (D7-9041)



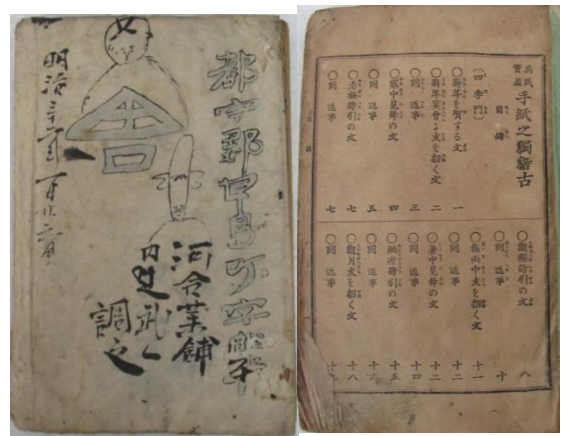
『臣民の道』 昭和 16 (1941) 年  
杉田家資料 (B139-1473)



『新制女子終身要義 卷五』 昭和 12 (1937) 年  
杉田家資料 (B139-1474)



『新制女子終身要義 卷三』 昭和 13 (1938) 年  
杉田家資料 (B139-1469)



『万民実益 手紙之独稽古』 明治 30 (1897) 年  
都宇郡前潟村河合家資料 (B22-24)

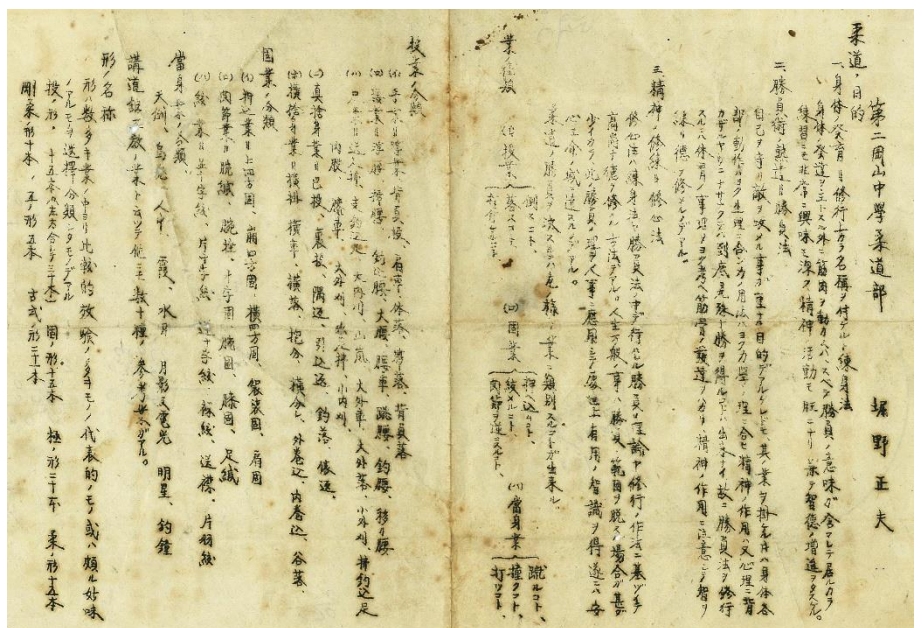
# きまり

## 「戦前の学校のきまり」

明治 9 (1876) 年頃開かれた女紅場は、女子教育の場所でした。規則からは、年齢 14 歳以上の女子を入学させ、裁縫専修のかたわら、「言語拳動ノ礼式」を学ばせたことがわかります。

岡山工芸学校は、現在の岡山県立岡山工業高等学校の前身のひとつで、大正 3 (1914) 年に開校しました。昭和初期の規則と考えられます。

また、第二岡山中学は、現在の岡山県立岡山操山高等学校の前身のひとつで、柔道部の要項です。柔道を行うに当たっての目的や業について書いてあります。



第二岡山中学柔道部案内 年代未詳 2016 年度収集諸資料 (A95-77)

**女紅場規則**

**總論**

夫レ女子ノ教育ノ母ニシテ人性ノ敏鈍善惡ハ皆其ノ胎孕及乳養中ノ教育ニ因リ者ナリ今ヤ全國學校ノ鼓々盛ナリト雖モ女教育未ダ備ハラサルヲ以テ多クハ絃歌踏舞等ノ遊技ヲ習ヒ徒ラニ姿容ヲ飾リ遊逸ニ流レル弊習ヲ爲シ既ニ婚嫁シテ人ノ妻トナリ分純シテ人ノ母トナシモ婦道ヲ知ラス母儀ヲ辨ヘテ以テ遂ニ其家風ヲ亂シ其幼童ヲ淫ニ

女紅場規則 明治9 (1876) 年  
児島郡波知村藤原家 (倉屋) 資料  
(B67-27)

**岡山工芸学校學則**

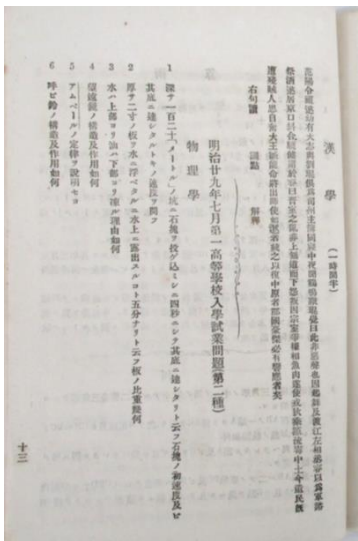
第一章 總則  
第一條 本校ハ工業技術ヲ基ニ工業ニ從事セラル者ニ必要ナル智識技能ヲ授ケ且ク體性ヲ培養シ善クナル工業技術者ヲ養成スルヲ以テ目的トス  
第二條 本校ハ木工・金工・工工・工工ノ三科ヲ置ク  
第三條 各科ノ修業年限ハ二四年トス  
第四條 生徒定員ハ百六十名トス  
第二章 學年・學期・休業  
第五條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ至ル  
第六條 學年ヲ分ケテ左ノ學期トス  
第一學期 自四月一日至七月三十一日  
第二學期 自八月一日至十一月三十一日  
第三學期 自十二月一日至三月三十一日  
第七條 休業日ハ左ノ如シ  
一、祝日、大祭日、日曜日  
二、創立記念日 六月八日  
三、夏季休業 自八月二十五日起至九月七日  
四、冬季休業 自十二月二十日起至一月三十一日  
第八條 實習校ノ他ノ事由ヲ依リ各休業日前後ハ依前日ノ通リ  
第三章 學則及教授法  
第九條 學則及教授法ハ左ノ如シ  
第十條 第一學年 教授法 一、算術 二、代數 三、幾何 四、物理 五、化學 六、生物 七、衛生 八、英語 九、書寫 十、図畫 十一、手工 十二、金工 十三、工工 十四、工工 十五、工工 十六、工工 十七、工工 十八、工工 十九、工工 二十、工工  
第十一條 第二學年 教授法 一、算術 二、代數 三、幾何 四、物理 五、化學 六、生物 七、衛生 八、英語 九、書寫 十、図畫 十一、手工 十二、金工 十三、工工 十四、工工 十五、工工 十六、工工 十七、工工 十八、工工 十九、工工 二十、工工  
第十二條 第三學年 教授法 一、算術 二、代數 三、幾何 四、物理 五、化學 六、生物 七、衛生 八、英語 九、書寫 十、図畫 十一、手工 十二、金工 十三、工工 十四、工工 十五、工工 十六、工工 十七、工工 十八、工工 十九、工工 二十、工工  
第十三條 第四學年 教授法 一、算術 二、代數 三、幾何 四、物理 五、化學 六、生物 七、衛生 八、英語 九、書寫 十、図畫 十一、手工 十二、金工 十三、工工 十四、工工 十五、工工 十六、工工 十七、工工 十八、工工 十九、工工 二十、工工  
第十四條 入學志願者ノ入學ニ關シテハ本校ニ提出スベシ  
第十五條 入學志願者ノ入學ニ關シテハ本校ニ提出スベシ  
第十六條 入學志願者ノ入學ニ關シテハ本校ニ提出スベシ  
第十七條 入學志願者ノ入學ニ關シテハ本校ニ提出スベシ  
第十八條 入學志願者ノ入學ニ關シテハ本校ニ提出スベシ  
第十九條 入學志願者ノ入學ニ關シテハ本校ニ提出スベシ  
第二十條 入學志願者ノ入學ニ關シテハ本校ニ提出スベシ

岡山工芸学校學則 昭和初年 2016 年度収集諸資料 (A95-73)

# 試験

入学試験 『烏城』第八号 明治29年10月15日 2014年度収集諸資料 (A88-18)

岡山尋常中学校尚志会刊行の『烏城』第8号には、「海軍兵学校」、「第一高等学校」、「高等商業学校予科」の入試問題があります。この頃の入学試験は、7月に行われていました。



小学生の試験  
「明治二十五年七月第一期臨時試験問題」入江家資料 (B128-616)

明治二十五年七月第一期臨時試験問題

算術科 第一等算

賞作科  
弟二子持フ  
妹年何年ヤ  
石二十ヶ示シ  
一糸船賃十三枚示シ  
白果五本ト六本ト示シ  
半銭一状ヲ買ヒ其内十五枚ヲ帳面ニ示シ  
何枚ヤ  
二枚銅四枚示シ是ニ何枚ヤ  
金力羅土産ニテ耐棋九枚三ヶ分此ニ  
何程ヤ  
六枚ニギワラ閉子ヲ買ヒ十枚銀ニ買  
テ出ス何ヶ残金何程ヤ  
数廿六十七ヲ書ル由シ

作文科  
アウクナリフミタ  
あふぢきあそびはせぬがよろい

明治尋常小学校第二支校 (現瀬戸内市) の第一学年の試験問題です。算術科の試験は、明治尋常小学校の教員数を足し算で問うなど、実生活に即した内容になっています。

# 高等学校資料

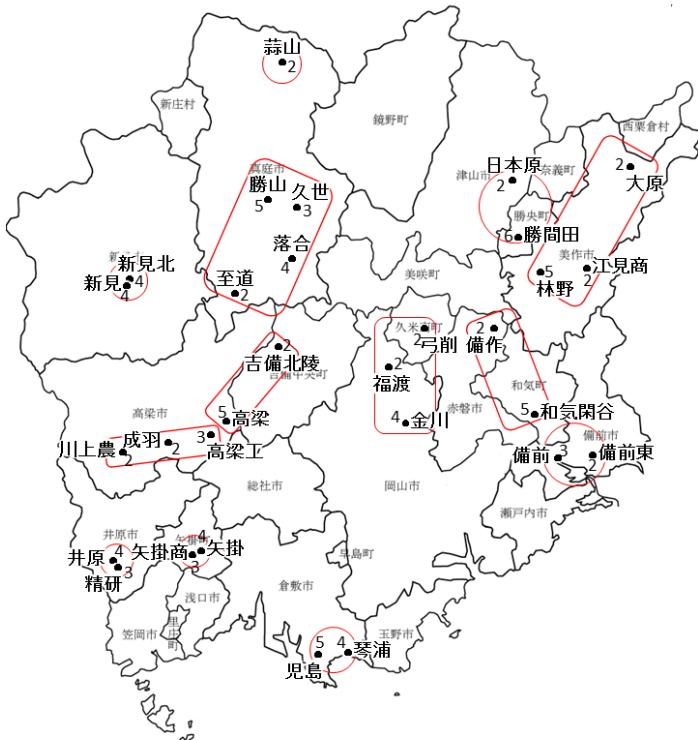
—江見商・大原・加茂川・賀陽・川上農業・琴浦・至道・田原・備作・備前東・成羽・弓削・日本原—

岡山県は平成14(2002)年3月に「岡山県高等学校教育体制整備実施計画」を策定し、同年4月再編整備を検討する対象校を発表しました。中学校卒業者数が大幅に減少するなか、高等学校の規模・配置の適正化を目的とし、再編整備を段階的に進めたのです。

当館では、閉校となった高等学校の資料を収集し、岡山県の教育史を後世に伝えるための「証(あかし)」を大切に保存し公開しています。

閉校した学校 (平成29年4月1日現在)

再編整備検討対象のグループ (平成14年4月発表)



『教育時報』平成16年1月より作成 ※数字は平成14年度第1学年募集学級数

閉校した学校	時期	新しい学校
備前東高等学校	平成17年3月末	備前緑陽高等学校
備前高等学校	平成17年3月末	
高梁工業高等学校	平成18年3月末	高梁城南高等学校
成羽高等学校	平成18年3月末	
川上農業高等学校	平成18年3月末	真庭高等学校(落合校地)
至道高等学校	平成18年3月末	
落合高等学校	平成25年3月末	真庭高等学校(久世校地)
久世高等学校	平成25年3月末	
大原高等学校	平成18年3月末	林野高等学校
江見商業高等学校	平成21年3月末	
矢掛商業高等学校	平成18年3月末	矢掛高等学校
金川高等学校	平成19年3月末	岡山御津高等学校
福渡高等学校	平成19年3月末	
児島高等学校	平成19年3月末	倉敷鷺羽高等学校
琴浦高等学校	平成19年3月末	
日本原高等学校	平成19年3月末	勝間田高等学校
新見北高等学校	平成19年3月末	新見高等学校(北校地)
備作高等学校	平成19年3月末	和気閑谷高等学校
精研高等学校	平成20年3月末	井原高等学校(南校地)
吉備北陵高等学校	平成20年3月末	高梁高等学校
弓削高等学校	平成24年3月末	津山工業高等学校
岡山大安寺高等学校	平成27年3月末	岡山大安寺中等教育学校
蒜山高等学校	平成27年3月末	勝山高等学校(蒜山校地)

岡山県教育庁HPより作成

## 1時間目 「夢つまる」

昭和22(1947)年4月1日施行の学校教育法に基づいて新制高等学校が発足し、それまで中等教育を受ける機会に恵まれなかった地域に多くの定時制高校が誕生しました。学校設立・県営移管の資料には、働く青少年たちに夢を与える地域の人々の「おもい」が詰まっています。

### 学校が地域を変える —至道高校—

『設立の経過』 昭和25年(1950)4月20日 当館所蔵公文書(2005/至道高校/0001)

岡山県立高梁高等学校北房分校(のちの県立至道高校)は昭和25年(1950)4月20日に開校式と入学式を行いました。開校式の式辞の中で横上若太郎村長は「実に多年に亘って見続けた夢の実現化で、わが郷土として洵(まこと)に歴史的最大の感激であります」と喜びを表現しています。資料からは一言では言い表せない困難を乗り越えて、地域の教育振興のために、各町村長、議会、教育関係者をはじめ多くの人びとが努力したことが分かります。





希望に燃えて ー至道高校ー

「開校式写真」 昭和 25 年（1950）4 月 20 日  
 当館所蔵公文書（2005／至道高校／0373）

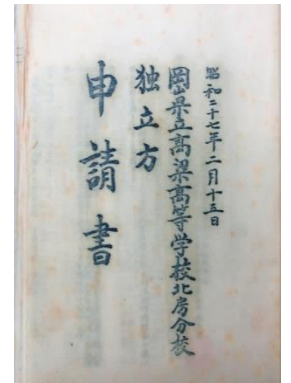
開校式は農業・家庭課程の新生 147 名をむかえ、盛大に行われました。会場となった実習室はまだ窓もできておらず、壁土がむき出しの状態でした。



独立校へむけて ー至道高校ー

「岡山県立高梁高等学校北房分校独立方 申請書」  
 昭和 27 年（1952）2 月 15 日 当館所蔵公文書（2005／至道高校／0004）

北房分校は地域の学校として独立することを強く要望しました。その結果、昭和 27 年 4 月 1 日に独立が許可され、「岡山県至道高等学校」（農業課程・家庭課程）が誕生しました。なお申請書の校名は「岡山県至道高等学校」でしたが、県の指示で「至道」に改められています。



「立」をあげた校旗 ー至道高校ー

「校旗写真」 昭和 28 年（1953）10 月 当館所蔵公文書（2005／至道高校／0373）

至道高校は独立した当初、県営からはずれました。この時制定された校旗は、県営になることを願って岡山県と校名の間、あとから「立」が入るよう一文字分あけてつくっています。



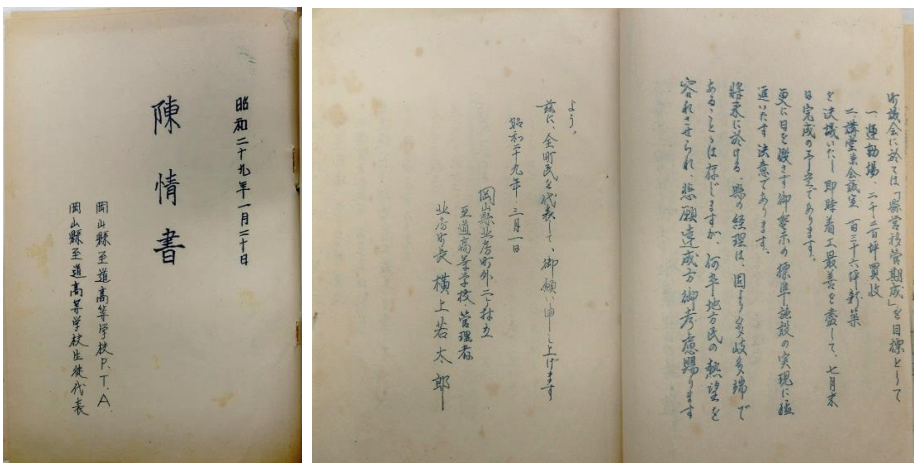
県営移管への思い ー至道高校ー

「陳情書」 昭和 29 年（1954）1 月 20 日 当館所蔵公文書（2005／至道高校／0004）

高校を県営に移管したいという熱望は創立当初からありました。昭和 27 年（1952）には、独立と県営移管を同時に行う方向で陳情していましたが、当時の施設・設備の状況では不十分であるとされました。その後陳情

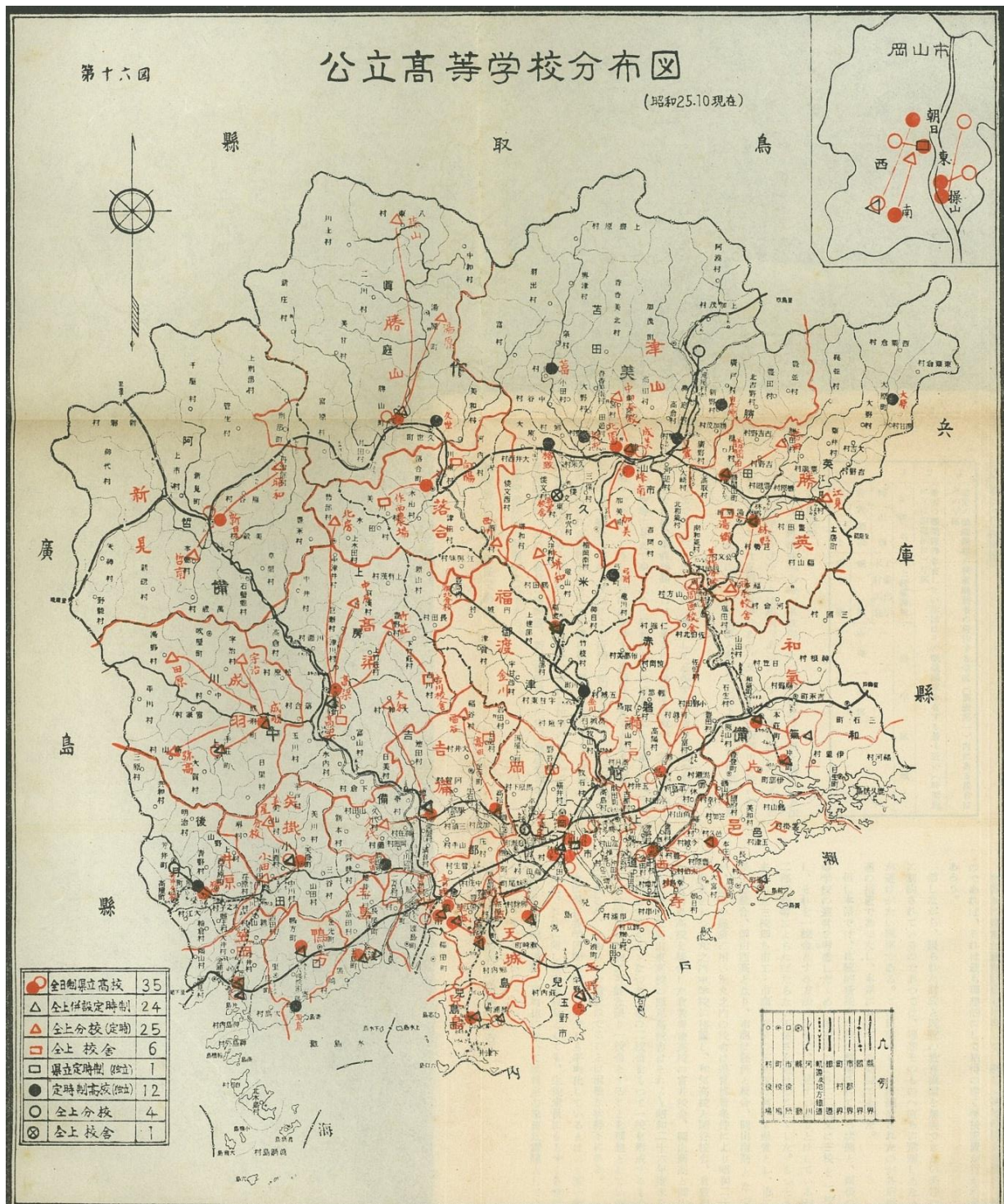
を続けるとともに、全戸より寄付金をあつめ、講堂と運動場を整備するなど、地域をあげた努力が実を結び、昭和 37 年（1962）4 月県営移管となりました。

PTA と生徒代表の陳情書には、生徒たちに「学ぶ誇り」が生まれ、「将来この地の文化昂揚」につながり、「金品に変えがたい」ものであると県営移管への思いを熱く訴えています。



「学校設置認可申請書 大原町外5ヵ村学校組合」—大原高校—  
 昭和23年(1948)2月26日 当館所蔵公文書(2005/大原高校/0011)

要約村の人口は僅かに二百五十人、小學校生徒数は約二百五十人、  
 新制中學校生徒数は約八十人、若くは五十人、生徒数は約二百五十人、  
 二、三に相當の人口がある上、島取郡兵庫縣と境を接して、大原  
 の水産も相當高く、此の地方の人の向學心は昔から旺盛なものが  
 あつたのである。それにもかゝらず、地域が僻の東北に偏在して、  
 交通機関も不便なため、小學校も卒業し、若くは、  
 少數の者を除いては殆ど全部の者が折角學力身体共優秀で  
 あり乍ら上級の學校に進學する熱望を放棄しては居ないが、  
 であるから、この地方は幾が通學する範圍に中等及び高等  
 の教育機関を設置することは、古くからこの地方の人々の熱望で  
 あつたのであるが、殊に近代時代の進運と共に、當地方の文化界  
 揚、産業開發、農業増産に備えて、その根柢を培つて、



岡山県教育委員会『教育要覧 1950』より

## 2時間目 「関門にいどむ」

高校生になるための最初の関門が「高校入試」です。岡山県では昭和 25 (1950) 年 2 月 22 日に学力検査 (4 教科) が実施されました。学力検査の出題教科はかつて 9 教科や 3 教科の時代もありましたが、昭和 54 (1979) 年から現在の 5 教科 (国・数・理・社・英) になりました。

### 58 年前の高校入試に挑戦！

『学力検査』 (昭和 34 年度) 昭和 34 年 (1959)

当館所蔵公文書 (2005/大原高校/0057)

当時の学力検査は、9 教科で実施していました。甲・乙の二つの形式があり、甲は記号、乙は記述で答えるものでした。この年の美術はスケッチや色紙をちぎって貼り付ける問題でした。

15 検査乙 I

検査 分科	検査 番号	高等学校 分科	受験 番号	志願校 (前期)志願科目	高等学校 分科	男	女
----------	----------	------------	----------	-----------------	------------	---	---

1 下の A, B 2 つの写真を見て、その感じを表わす (1)~(8) のことばの中から、A, B のそれぞれにあてはまるものを選び、その番号を右のわくの中に書き入れなさい。

(1) 優雅な感じである。  
(2) たくましい実在の人物を見るようである。  
(3) 岩のような重層感がある。  
(4) 清らで神秘的な感じを受ける。  
(5) 端正でだけかい感じである。  
(6) 理動的で軽快な感じである。  
(7) 豪壮で華麗な感じである。  
(8) 力強さと意志のかたさを感ずる。

A は      
B は

A 考える人 B みろくぼさつ



2 上の A の作品を見て、その彫刻の人体全部を下のわくの中に鉛筆でスケッチしなさい。(陰影はつけてなくてもよい)

3 下の (1)~(10) のことばは、配布された色紙の黒色と明かい赤色との、性格や感情を表わしたものである。その中からそれぞれの色について、一般に適當と思われることばを一つ選び、その番号を下のわくの中に書き入れなさい。

(1) 進出 (2) 飛躍 (3) 重い (4) 後退 (5) 膨張 (6) 収縮 (7) 陰気 (8) 暖かい (9) 暗気 (10) 柔るかい

黒色は      
明かい赤色は

4 下の (1)~(10) のことばは、配布された色紙の黒色と明かい赤色とを、性格や感情を表わしたものである。その中からそれぞれの色について、一般に適當と思われることばを一つ選び、その番号を下のわくの中に書き入れなさい。

(1) 進出 (2) 飛躍 (3) 重い (4) 後退 (5) 膨張 (6) 収縮 (7) 陰気 (8) 暖かい (9) 暗気 (10) 柔るかい

黒色は      
明かい赤色は

5 配布された色紙を 3 色も使って、下のわくの中に形や面積などを考えながら、切りちぎったりなどして、美しい構成になるようにはりつけなさい。

【注意】色紙は切らないままで使っても、重ねてはってもよい。また、使い残りができてよい。はりつけたあと、この用紙に余分の紙が落ちないようにしなさい。

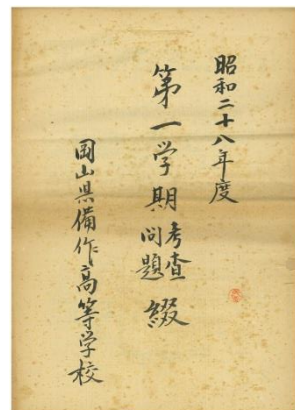
## 3時間目 「知へのめざめ」

学校は様々な活動をとおして「豊かな学び」を形成する場所です。ここでは特色あるカリキュラムや学習指導など「授業」に関する資料を紹介します。

### テストにみる戦後の世相 —備作高校—

『第一学期考查問題綴』 昭和 28 年 (1953) 当館所蔵公文書 (2006/備作高校/0005)

テスト問題には「朝鮮動乱」「メーデー」「ストレプトマイシンの発見」「第三勢力」など、昭和 28 年 (1953) 当時の世相をあらわす言葉が見られます。定時制 4 年生のテストであることから、社会に出て行く生徒たちに「世の中の出来事へ関心を持ってもらいたい」という教員の思いも伝わってきます。



### 新米教員の熱い授業 —備前東高校—

『社会科 (日本史) 授業案』 昭和 55 年 (1980)

当館所蔵公文書 (2006/備前東高校/0050)

学習指導案とは、教員が授業をどのように進めていくかを記載した、学習指導・学習支援の計画書のことで、この指導案は新採用教員のもので、細かな事象にとらわれ、ややポイントが判りづらくなっています。しかし黒板への板書計画や「内容考察」を作成し、授業に向けて熱心に準備をしている様子がわかります。教員はこのような指導案を作成し、校内研修を重ねて育っていくのです。

社会科 (日本史) 授業案 本時の題名 院政 2年 組 月 日 指導者 定章

本時のねらい (1) 後醍醐天皇の政治の意義と理解させ、それが院政の前提となっていることをつかせる。  
(2) 院政は上皇による専制政治であり、古代から中世への大きな変換期に於ける天皇政治の転換であったことをとらえさせる。

指導内容

導入 院政の導入 (前時の確認)

展開 院政の導入 (1) 院政の導入 (2) 院政の導入 (3) 院政の導入 (4) 院政の導入 (5) 院政の導入 (6) 院政の導入 (7) 院政の導入 (8) 院政の導入 (9) 院政の導入 (10) 院政の導入

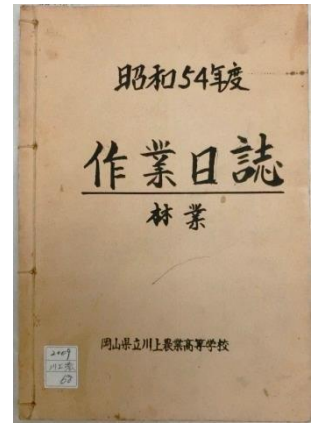
まとめ 院政の導入 (1) 院政の導入 (2) 院政の導入 (3) 院政の導入 (4) 院政の導入 (5) 院政の導入 (6) 院政の導入 (7) 院政の導入 (8) 院政の導入 (9) 院政の導入 (10) 院政の導入

地域産業の担い手を育てる ー川上農業高校ー

『農場作業日誌（林業）（昭和54年度）に関する綴』

昭和54年（1979）当館所蔵公文書（2009／高梁城南高校／0068）

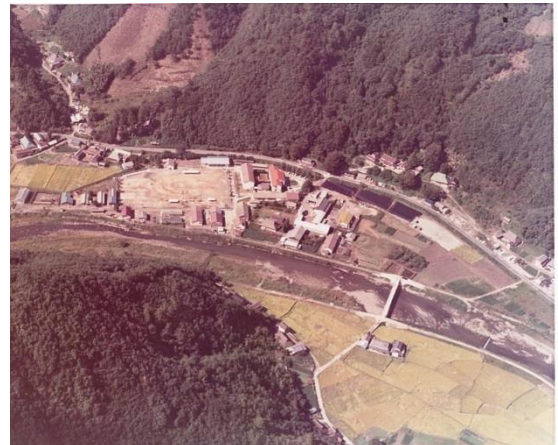
川上農業高校では、農業科の専門教育として林業・畜産・園芸分野で実験・実習を中心とした教育が行われていました。林業実習では、しいたけの原木 25,000 本を栽培していました。作業日誌からは栽培実習だけでなく、しいたけを農協に出荷していたことがわかります。



しいたけの収穫 ー川上農業高校ー

『学校行事スナップ写真集』 昭和48年（1973）

当館所蔵公文書（2009／高梁城南高校／0117）



県立川上農業高等学校 空撮

『学校行事スナップ写真集』 昭和48年（1973）10月1日

当館所蔵公文書（2009／高梁城南高校／0117）

動物バイオの先駆け ー日本原高校ー

『指導計画綴』 昭和60年（1985）

当館所蔵公文書（2006／日本原高校／0005）

日本原高校は、中国・四国で唯一の酪農科がある学校でした。昭和59年（1984）からは乳牛の受精卵移植を手がけ、農業高校では全国で初めて、ホルスタイン種の妊娠・出産に成功しました。



トラクター運転実習

ー日本原高校ー

「Ⅲ期酪 S50-51 運転練習」

昭和50年（1975）頃

当館所蔵公文書

（2006／日本原高校／0087）



搾乳実習 ー日本原高校ー

「Ⅲ期 S521 牛舎搾乳実習」昭和50年（1975）頃

当館所蔵公文書（2006／日本原高校／0087）

酪農科		科目	単位	時間（ ）
2年		畜産	2	講義（ ）実験実習（ ）
月	単元	項目	指導内容	
	繁殖	繁殖の経路 生殖器 繁殖技術	繁殖成績と経路 繁殖と飼育環境 【雄】陰莖、精巣、精管 【雌】卵巣、卵管、子宮、膈 （含内分泌器官） 繁殖計画 繁殖適合（容積） 人工授精（精液と精子の生理） （精液の検査） （精液の注入法） 妊娠、本産、母子中心管理	
	育成	子牛の育成	哺乳 人工乳の利用、哺乳子牛の育成 離乳後の育成	
	環境	乳牛と環境	物理的環境、化学的環境 生物的環境、乳牛と環境 繁殖育成と環境	
	管理	牛舎 一般管理	内部設備、付属施設設備 省力化と機械化 搾乳 放牧管理	

4時間目「つながる気持ち」

生徒と先生と学校とをつなぐものは沢山あります。学校生活ではノートやクラス通信など、卒業してからは学校のメモリアルとなる「モノ」ではないでしょうか？懐かしい学校のモノ資料と先生と生徒たちの思いの詰まった資料を紹介します。

昭和55年夏季休暇における課題・補習・テストについて

昭和55年7月16日  
岡山県立備前東高等学校

1. 夏期休暇中課題一覧表

教科	科目	内 容	提出方法
国語	現国	感想文(3組)	9月5日 提出
	古文	漢 語(第10回P21) 新編 勸学篇・金文歌	8月19日 提出
	漢文	必修漢文(漢語)P.34~P.49	9月5日 提出
社会	倫社	あらゆる大企業を調査し、その内容の概要及び感想を著し、レポートを作成する。	レポート用紙に記入し、9月2日提出
	図経	レポート作成する。	9月2日提出
数学	数 I	「標準数I」プリント	9月2日提出
理科	化 I	プリント	9月2日提出
外国語	英語	(1) DICKENS' BEST STORIES を熟読し、レポートを作成する。 (英文得意者は可)	9月2日提出
		(2) 「レポート基礎と演習」P.54~P.615	提出不要
		(3) 「英語総合演習」上・中・下巻 (附録集に収録)を熟読する。	8月25日より1週間 9月2日提出
家庭	家庭一般	「ホームプロジェクト」レポート	9月1日 提出

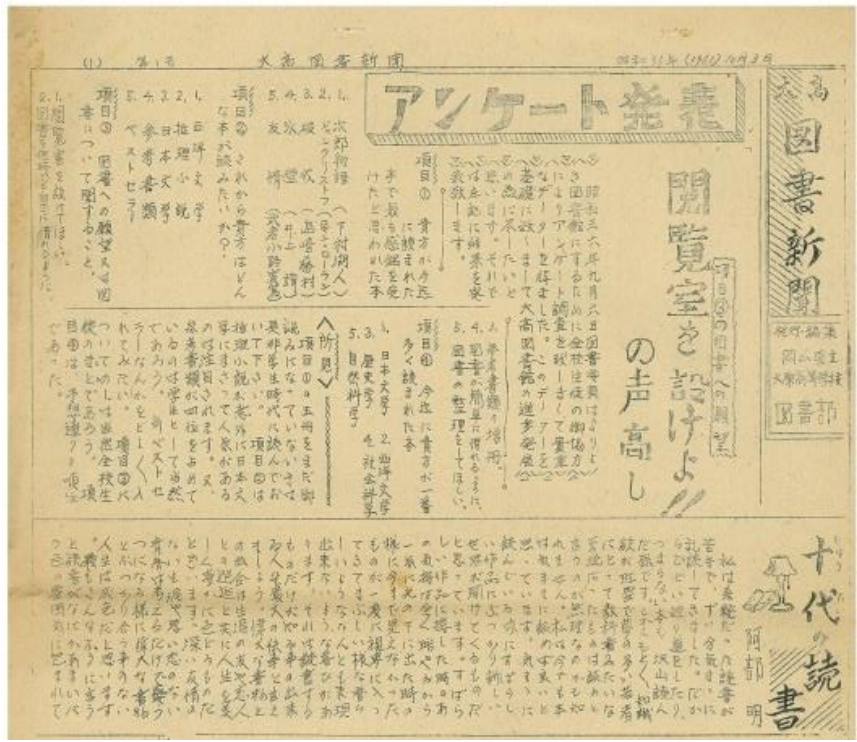
注意

(1) 教科担任から特別の指示がある「ごきり」各クラスの委員長が、夏期休暇明けに目録の2. 教科担任に連絡する。

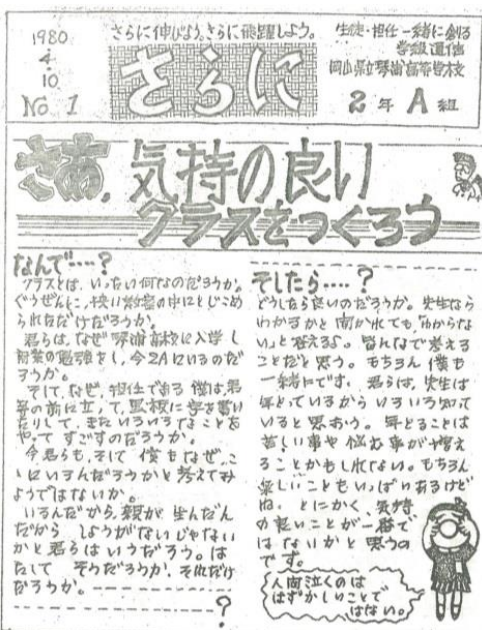
(2) 組・番号、氏名を明記する。

(3) 自分の授業を欠けている科目の課題をおこなうこと。

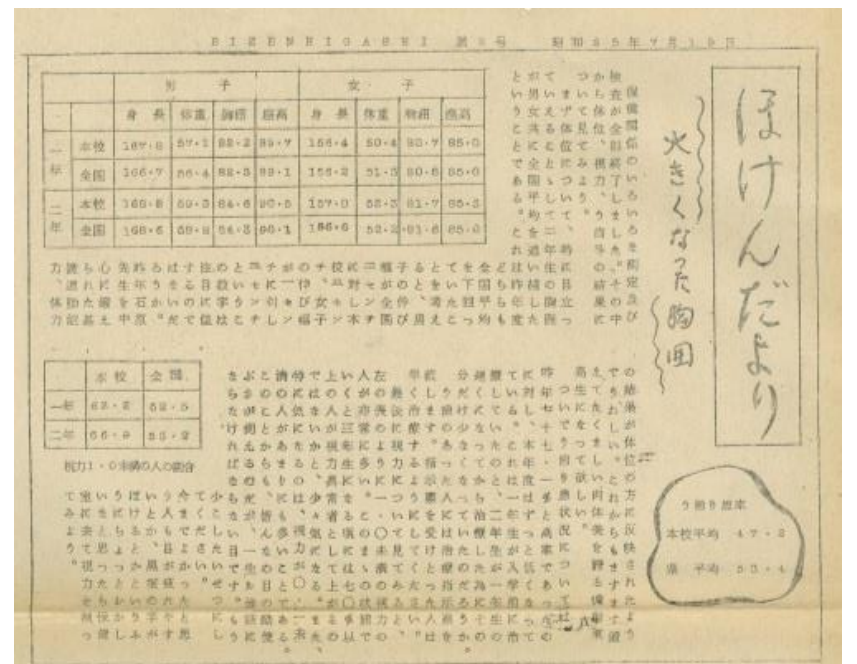
「夏季休暇における課題・補習・テストについて」昭和55年(1980)7月16日  
当館所蔵公文書(2003/備前東高校/0050)



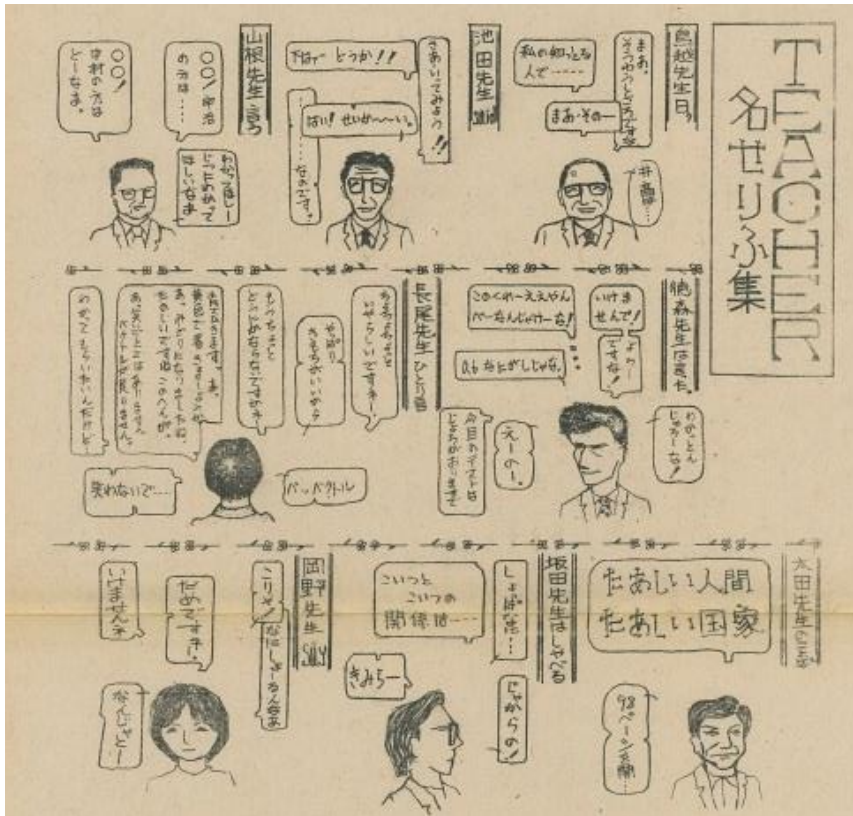
「大高図書新聞」第1号 昭和36年(1961)10月3日  
当館所蔵公文書(2005/大原高校/0074)



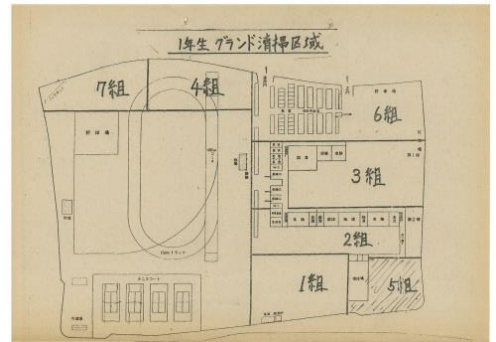
『クラス誌「さらに」』 昭和55年(1980)  
当館所蔵公文書(2006/琴浦高校/0016)



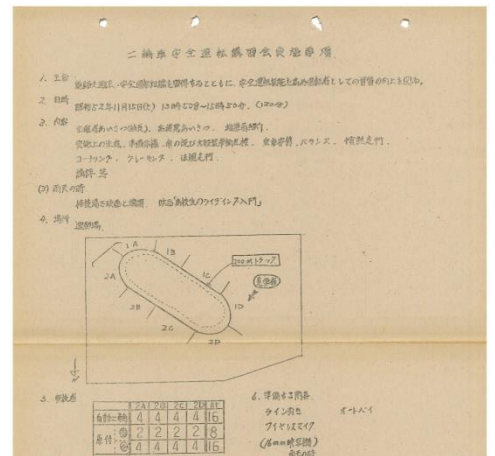
「ほけんだより」 昭和55年(1980)7月19日  
当館所蔵公文書(2003/備前東高校/0047)



「あずさ3号」昭和52年(1977)  
当館所蔵公文書(2005/成羽高校/0181)



「1年生グランド清掃区域」  
昭和55年(1980)7月16日  
当館所蔵公文書(2003/備前東高校/0050)



「二輪車安全運転講習会実施要項」  
昭和52年(1977)11月15日  
当館所蔵公文書(2005/成羽高校/0181)



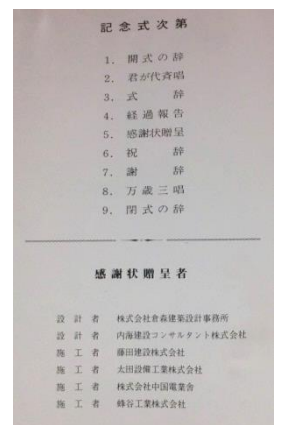
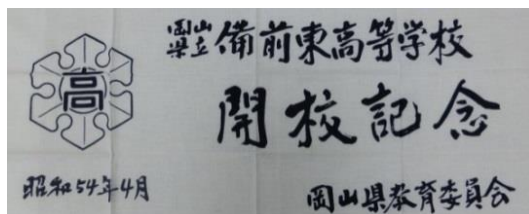
「閉校記念品文鎮の原型」—加茂川高校—  
昭和61年(1986)3月 当館所蔵公文書(2007/吉備北陵高校/0085)

県立加茂川高等学校は昭和61年(1986)3月3日に閉校式を行いました。記念品として配られた鳩と校章を組み合わせた文鎮の原型は、高梁市備中町出身の彫刻家 宮本 隆 氏が原型を作製しました。

開校記念グッズ —備前東高校—

「備前焼文鎮」「手ぬぐい」「パンフレット」 昭和54年(1979)  
当館所蔵公文書(2006/備前東高校/0042)

県立備前東高等学校は、昭和54年(1979)4月27日に開校記念式を行いました。記念品の文鎮は地域の特産品である備前焼で作られています。





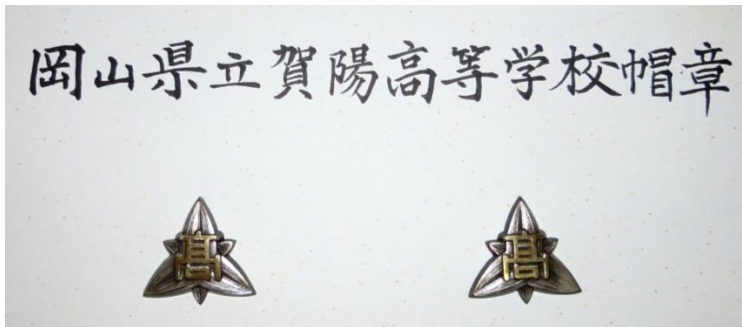
「学生証刻印機」 一備作高校一  
年未詳 当館所蔵公文書 (2006/備作高校/0074)



「江見商ワッペン」 年未詳  
当館所蔵公文書 (2006/江見商業/0157)



生徒の心得 一竹荘(賀陽)高校一  
「生徒手帳」 昭和30年(1955)  
当館所蔵公文書 (2007/吉備北陵高校/0058)



「岡山県立賀陽高等学校帽章」 年未詳  
当館所蔵公文書 (2007/吉備北陵高校/0085)



「創立30周年記念品」 一至道高校一  
昭和55(1980)年10月  
当館所蔵公文書 (2006/至道高校/0157)

## お昼休み 「自慢の母校」

### 学校紹介VTR

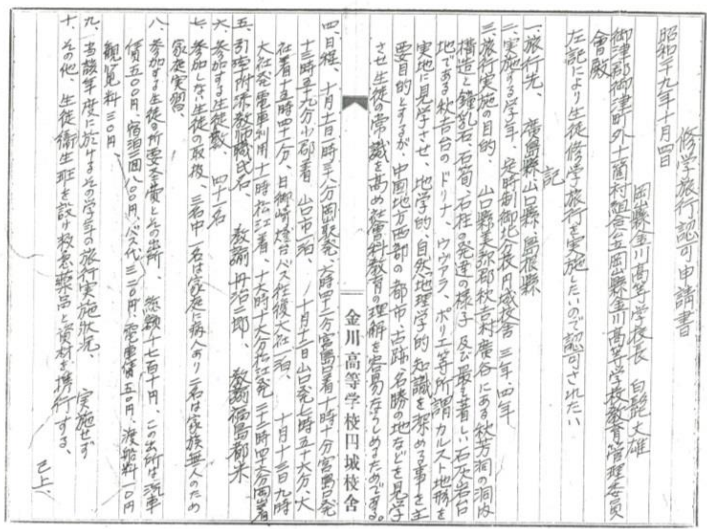
- 県立弓削高等学校 「躍動する弓削校生」 (約15分)  
平成6年(1994)頃 当館所蔵公文書 (2006/日本原高校/0083)
- 県立日本原高等学校 「学校紹介」 (約14分)  
平成6年(1994) 当館所蔵公文書 (2006/日本原高校/0082)

# 5時間目 「熱いなかま」

学校はクラス・学年・部活動など集団で活動する場面が数多くあります。生徒たちはホームルーム活動・生徒会活動・学校行事などを通じて集団や社会の一員としての資質や自分の生き方についての自覚を養っていきます。泣いたり、笑ったり、怒ったり、悩んだりしながらも、一つのこと「やりとげた」経験は、人生の大きな糧となるものです。

午前1時38分岡山発の修学旅行  
 ー金川高校円城校舎（加茂川高校）ー  
 「修学旅行許可申請書」 昭和29年（1954）9月  
 当館所蔵公文書（2007/吉備北陵高校/0047）

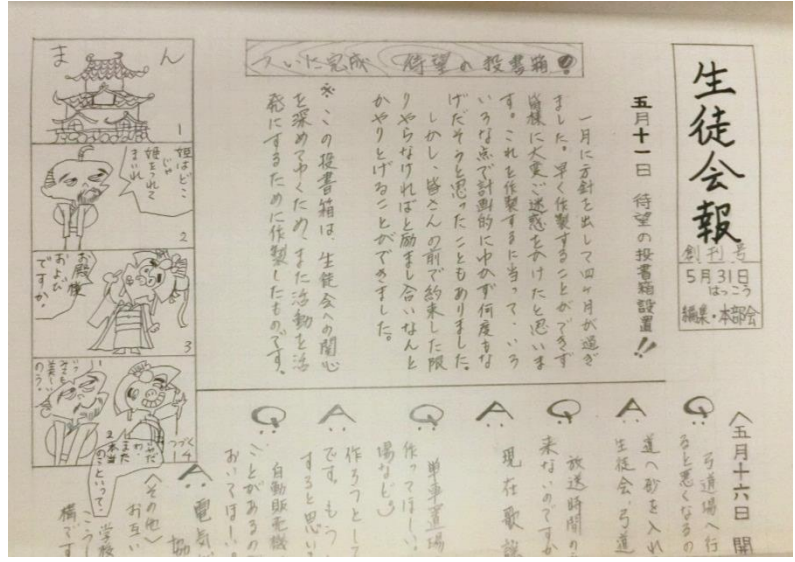
昭和20年代後半の修学旅行の様子が見える資料です。3・4年生合同で41名の生徒を2名の教員が引率しています。期間は2泊3日ですが、岡山駅を午前1時に出て、23時前に帰るので実質5日間の旅でした。旅行代金の総額は1,710円となっています。



「修学旅行 羽田国際空港にて」 ー加茂川高校ー  
 昭和34年（1959）4月14日  
 当館所蔵公文書（2007/吉備北陵/0045）

頑張れ！田原高校生徒会 『生徒会関係綴』昭和52年（1977）9月 当館所蔵公文書（2007/成羽高校/0092）

生徒会はクラブ紹介、クラス役員決め、生徒総会、文化祭・体育祭、リーダー講習会、生徒会役員選挙、校則の改正、卒業生を送る会など年間を通して忙しく活動しています。資料からは、こうした活動を成功させるために生徒と教員がともに頑張っている姿を見ることができます。







「体育祭の応援」 —至道高校—  
昭和 45 年 (1970) 当館所蔵公文書  
(2005/至道高校/0373)



「10 喜劇 ロミオとジュリエット」  
—川上農業高校—  
昭和 48 年 (1973) 12 月  
当館所蔵公文書 (2009/川上農業/0119)

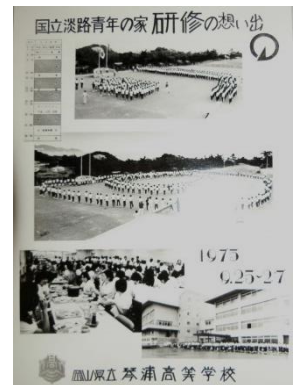
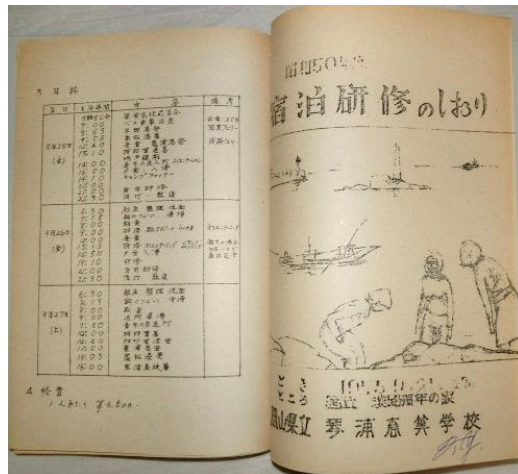
規律・友情 —琴浦高校—

「宿泊研修のしおり」

昭和 50 年 (1975) 9 月

当館所蔵公文書 (2006/琴浦高校/0011)

県立琴浦高校 1 年生が淡路島で行った宿泊研修のしおりです。研修の目的を「1 学期の反省と今後の学校生活考える」「集団生活の中で友情を深める」「規律を尊重する姿勢を養う」「野外活動などで体力を増進する」こととし、様々な活動ができるようプログラムを構成しています。



「研修の思い出」  
—琴浦高校—  
昭和 50 年 (1975) 9 月  
当館所蔵公文書  
(2006/琴浦高校/0011)

## 6時間目 「残るあかし」

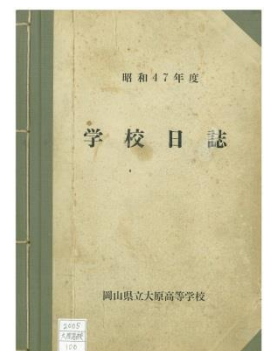
当館では、閉校となった県立高等学校 14 校の資料、約 2,400 点を保存しています。資料は「職員会議録」「学校日誌」をはじめ、「交通指導記録」や「野球部創設陳情書」など、学校の歴史を「きざむ」ものです。

長年にわたり地域に親しまれてきた教育の拠点は無くなりましたが、学校アーカイブズにきざまれた「学校の証 (あかし)」は、当時の学校の姿をよみがえらせてくれます。

「昭和 47 年度学校日誌」 —大原高校—

昭和 48 年 (1973) 当館所蔵公文書 (2005/大原高校/0100)

学校日誌とは生徒や職員の動静を毎日記録していくものです。生徒の在籍数、出欠数、職員の休暇、出張や校外勤務の内容、行事などその日に学校であった出来事を記録するものです。



「昭和 47 年度職員会議録」－賀陽高校－

昭和 48 年（1973） 当館所蔵公文書（2007／吉備北陵高校／0019）



「進路の手引」－賀陽高校－

昭和 57 年（1982） 当館所蔵公文書（2006／吉備北陵高校／0082）

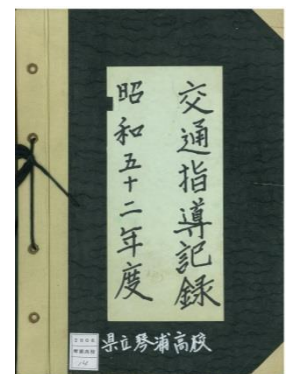


進路の手引きは、3 年間の進路活動をサポートするために必要な基礎知識や進路状況、心構えなどをまとめた冊子で、学校の実態に合わせて独自で作られます。

「交通指導記録」－琴浦高校－

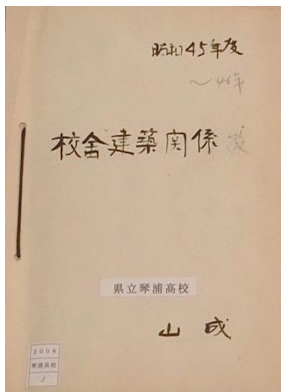
昭和 52 年（1977） 当館所蔵公文書（2006／琴浦高校／0014）

高校生の生活指導は時代や地域等により様々です。昭和 40 年代から 50 年代にかけては、交通指導が増大しています。岡山県では昭和 57 年（1982）以降、通学困難生徒を除いて、オートバイ免許を取らせない指導を進めました。



「校舎建設関係綴」－琴浦高校－

昭和 47 年（1972） 当館所蔵公文書（2006／琴浦高校／0003）



県立琴浦高等学校は、昭和 45 年（1970）6 月の火災で木造校舎の大半を焼失しました。この公文書には復興工事の図面が綴られています。

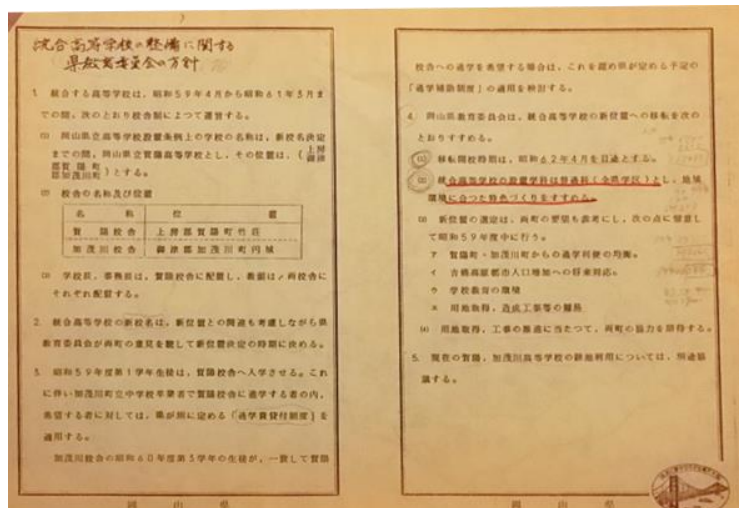
「小規模高等学校再編整備問題綴」

－賀陽高校－

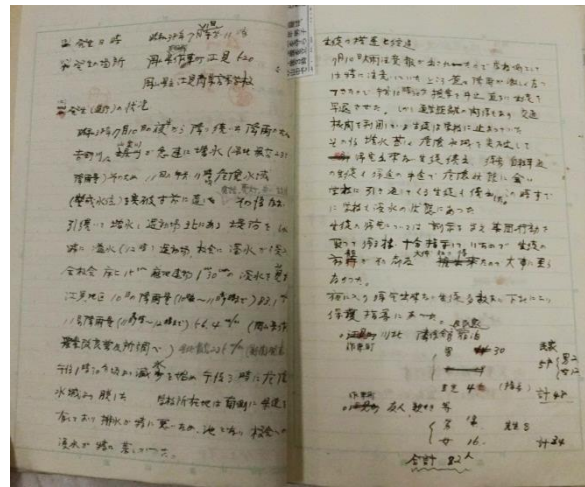
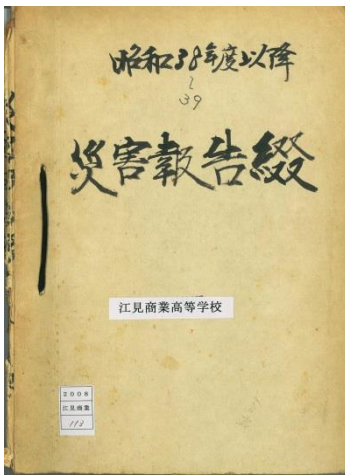
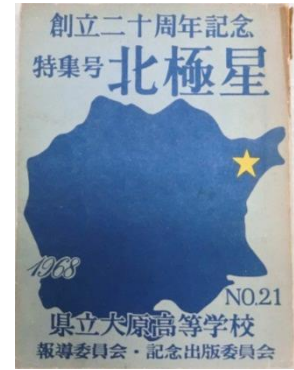
昭和 58 年（1983）

当館所蔵公文書（2007／吉備北陵高等学校／023）

昭和 58 年岡山県は「小規模高等学校再編整備実施計画」を発表しました。賀陽高校に加茂川高校が統合され、吉備北陵高校が誕生しました。この資料から統合校の教育課程や特色ある学校にしていくために検討を重ねた様子がわかります。その後吉備北陵高校も平成 19 年（2007）に閉校となりました。



「北極星No.21 創立二十周年記念特集号」 一大原高校一  
昭和 43 年（1968）10 月 9 日 当館所蔵公文書（2005/大原高校/0544）



「災害報告綴」 一江見商業高校一  
昭和 38 年（1963） 当館所蔵公文書（2008/江見商業/0113）

昭和 38 年（1963）7 月 11 日、吉野川が氾濫し作東地方では大きな被害が出ました。江見商業高校も近くの堤防が決壊し、校舎床上 15cm、農具舎など 130cm の浸水がありました。この資料からは当時の被害状況だけでなく、緊急時に学校がどのような対応をしたかがわかります。

記録を未来へ伝えるために - 収集の説明資料 -

作成：岡山県立記録資料館 2006年2月

学校資料廃棄に先立つ歴史的資料の収集・保存について

**趣旨**  
廃棄する資料の中には、必ず歴史的資料があります。学校の証（あかし）、教育県・岡山県の証となる資料を後世に伝える作業をしていくことが重要です。古いものも重要ですが、現在までの教育史を後世に語り継ぐために、今現在のものも同様に重要です。

**作業手順**  
① 学校で作成・收受して生まれるすべての資料の目録を作成します。  
② その目録をもとに、廃棄するものと引き継ぐ（保存する）ものに分けます。  
③ 廃棄目録を記録資料館に送り、その中から館職員が歴史資料として選別します。  
④ 歴史資料として引き継ぐべき資料の目録を学校に返し、廃棄時に記録資料館職員が直接収集に行きます。

（上記手順ができない場合）  
**緊急の措置**  
年度当初や年度末の資料の移動・整理において、目録作成ができないまま廃棄される場合や、特に廃校・編入・場所移転などによって、学校の存在がなくなる場合がこれにあたります。統合校等へ引き継ぐ資料以外はすべて廃棄対象です。したがって、廃棄時に記録資料館職員が訪問して、廃棄対象資料の中から歴史的資料を選別収集し、保存します。

**選別基準**（順不同）  
① 学校の設立経過、統合経過、廃止経過のわかるもの。会議資料など。  
② 職員会議録。  
③ 年間行事、開校記念式典、卒業式、答辞など。  
④ 指導計画、歴代のカリキュラム、学校改革記録など。  
⑤ 学校日誌、生徒の活動記録、校務内規、生徒手帳、保健室や体育教室の記録など。  
⑥ 学校周辺の記録（PTA、同窓生、地域社会、後援会、校長会など）。  
⑦ 学校が作成したあらゆる刊行物。研究授業、学校要覧、新聞、通信など。  
⑧ 学舎関係資料。記念会館、図面、写真、看板など。  
⑨ 学校沿革史、教職員の在任記録、生徒の在学記録、転入学など。  
⑩ 予算・決算書など。（授業設備・生徒活動などで、一般事務関係以外のもの）  
⑪ 学校史などの記念誌を編集する際に使用した文書・写真などの原本。  
⑫ その他、学校の特徴的な物品資料など。

**記録資料館資料になると**  
収集資料は、一点ごとに目録を作成・整理し、県民が調査・研究などで活用できるようにします。個人情報については、責任を持って管理・保存します。文書については、事項完結から最低30年、場合によってはそれ以上の年数、開示を凍結します。



学校アーカイブズ調査記録

# 岡山の今昔写真 -学校の風景-



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16

## おかやまの今昔写真展 -学校の風景-

公庫広報課引継ぎ写真

タイトル	現市町村	年代	資料番号
1 学校給食視察 (西日本学校給食大会)		昭和31年 (1956) 12月5日	349-A1
2 岡山県立西高等学校 (現県立岡山工業高校) 実習風景	岡山市	昭和33年 (1958) 5月28日	698-B5
3 鷺羽山清掃美化運動 (下津井東小学校5年)	倉敷市	昭和37年 (1962) 6月5日	2272-A1
4 岡山県立高等看護学校戴帽式	岡山市	昭和37年 (1962) 11月22日	2448-A6
5 岡山県立盲学校 点字本を読む	岡山市	昭和39年 (1964) 10月16日	3532-E2
6 スクールボートで下校する大飛島の小学生	笠岡市	昭和40年 (1965) 9月21日	3866-D3
7 松島小中学校分校 (児島市立下津井中学校・西小学校松島分校)	倉敷市	昭和40年 (1965) 10月18日	3894-E3
8 鳥城高校 (夜間の授業)	岡山市	昭和41年 (1966) 4月11日	4086-B4
9 交通教室 (山陽町立高陽小学校)	赤磐市	昭和41年 (1966) 11月1日	4207-F6
10 日生西小学校鴻島分校	備前市	昭和46年 (1971) 6月2日	5976-E3
11 越畑小学校 (鏡野町)	鏡野町	昭和46年 (1971) 6月27日	6030-A6
12 由加学園閉園式	倉敷市	昭和48年 (1973) 3月24日	7066-E3
13 岡山県立岡山西養護学校	岡山市	昭和51年 (1976) 6月5日	8155-F2
14 ちびっこ消費生活教室 (松原中学校)	高梁市	昭和52年 (1977) 10月18日	8445-B4
15 ユネスコ担当官 岡山大学附属中学校視察	岡山市	昭和54年 (1979) 3月6日	8727-C2
16 一輪車 (津田小学校)	真庭市	昭和58年 (1983) 9月14日	9927-F2

第71回所蔵資料展 思い出の学び舎のきろく〈展示品紹介〉

〒700-0807

岡山市北区南方2-13-1

岡山県立記録資料館

TEL : (086) 222-7838

FAX : (086) 222-7842

<http://archives.pref.okayama.jp/>

発行：平成29年8月8日

